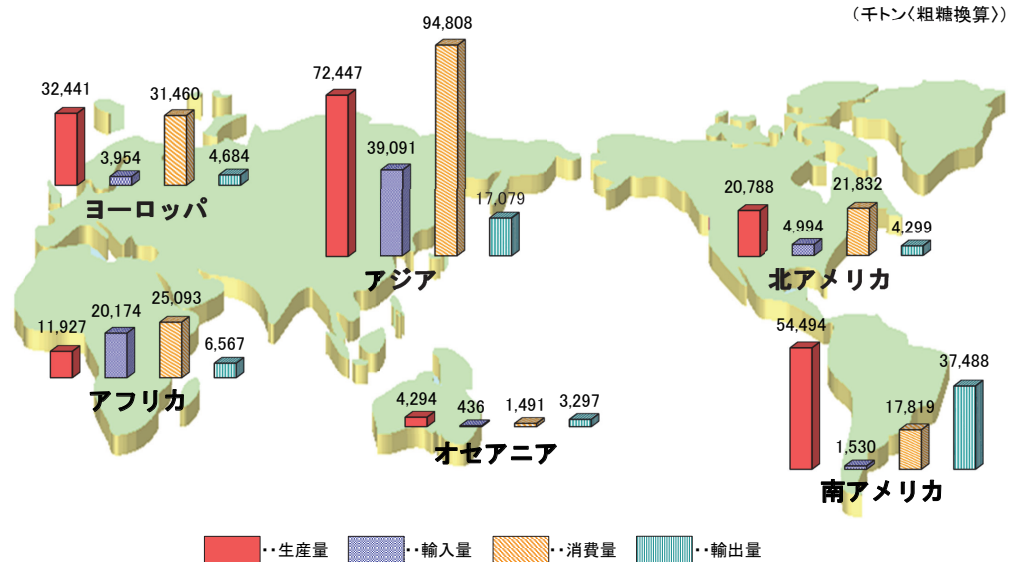


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星

1 世界の砂糖需給（2024年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

表 世界の砂糖需給の推移

（単位：千トン〈粗糖換算〉、%）

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,887	116,773	31,802	112,814	32,521	52,126	46.2
1999/00	68,592	133,221	36,600	127,777	39,788	70,848	55.4
2004/05	71,495	144,294	47,126	146,602	50,697	65,615	44.8
2009/10	64,724	159,790	55,848	164,415	55,989	59,959	36.5
2014/15	75,460	183,101	60,913	177,018	62,434	80,022	45.2
2019/20	89,771	181,819	69,502	182,713	71,584	86,796	47.5
2020/21	86,796	181,921	66,808	185,150	68,007	82,367	44.5
2021/22	82,367	186,153	69,410	188,439	71,223	78,268	41.5
2022/23	78,268	190,908	70,896	190,199	71,493	78,381	41.2
2023/24	78,381	195,764	75,660	192,131	76,898	80,776	42.0
2024/25 (2024年9月予測)	80,776	196,391	70,180	192,504	73,415	81,428	42.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。
 注3：期末在庫量は（期首在庫量+生産量+輸入量-消費量-輸出量）。
 注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

「世界の砂糖需給」および「主要国の砂糖需給」は四半期ごとの更新となっていますので、次回は2025年1月号の掲載となります。直近の内容は2024年10月号をご参照ください。

「世界の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003203.html

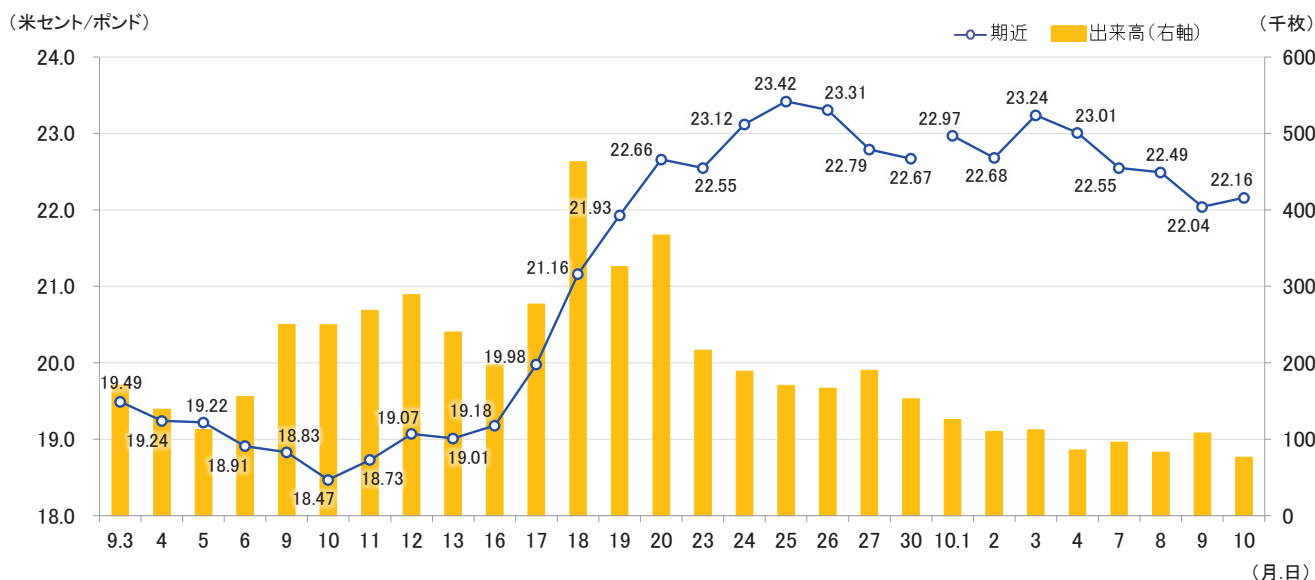
「主要国の砂糖需給」：https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_003204.html

2 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き (9/3 ~ 10/10)

～9月はブラジルの干ばつによる砂糖生産の見通し悪化により価格が急騰～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：9月は期近10月限、10月は3月限の値。

2024年9月のニューヨーク粗糖先物相場（10月^がぎり限）の推移を見ると、ブラジルの火災被害による減産懸念が続く中、8月末に国際砂糖機関（ISO）が2024/25年度の世界の砂糖供給量を下方修正したことやインド政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3日は前取引日から1ポンド当たり0.11セント上げて同19.49セント（注1）となった。4日以降は原油安（注2）やインドのモンスーン期の降水量が平年を上回ったことによるサトウキビの増産期待により下落を続け、10日は同18.47セントをつけた。11日以降は原油高に加え、ブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）がブラジル中南部地域の減産を発表したことで上昇し、12日には同19.07セントをつけた。13日は原油安で一時的に下落したものの、16日以降はリアル高（注3）などに加えてブラジルの干ばつがサトウキビの作柄悪化の懸念材料となり、価格を急激に押し

上げた。その結果、20日には同22.66セントと5カ月ぶりの高値となった。23日はリアル安で一時的に価格が下落したが、24日以降はブラジルの干ばつによる砂糖生産の見通し悪化により再び上昇し、25日には同23.42セントをつけた。26日以降はインド産およびタイ産の生産見通しの改善に起因した世界的な砂糖余剰拡大の見通しから、30日には同22.67セントと値を落として納会した。

10月に入り期近が3月限に切り替わると、1日は原油高により同22.97セントをつけたものの、2日はブラジルの降雨予報で干ばつの懸念が和らいだことにより、同22.68セントと値を下げた。3日は原油高により上昇したが、4日以降はブラジルの降雨予報などで再び下落に転じ、9日には同22.04セントとなった。10日は原油高を受け、同22.16セントと緩やかに上昇した。

(注1) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(注2) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大

きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

(注3) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

3 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2024年10月時点予測)

ブラジル

2024/25年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：873万ha(前年度比3.8%増)

生産量：6億6000万トン(同7.5%減)

【砂糖(甘しゅ糖)】

生産量：4582万トン(同7.1%減)

輸出量：3551万トン(同5.8%減)

2024/25年度のサトウキビ生産量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度(4月~翌3月)のサトウキビ収穫面積は、873万ヘクタール(前年度比3.8%増)とやや増加が見込まれている(表)。一方、サトウキビ生産量は、主産地の中南部地域で続く干ばつや森林火災の影響を受け、6億6000万トン(同7.5%減)とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、干ばつや森林火災がサトウキビの品質や収量に悪影響を及ぼしていることから、4582万トン(同7.1%減)とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出制限から、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3551万トン(同5.8%減)とやや減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

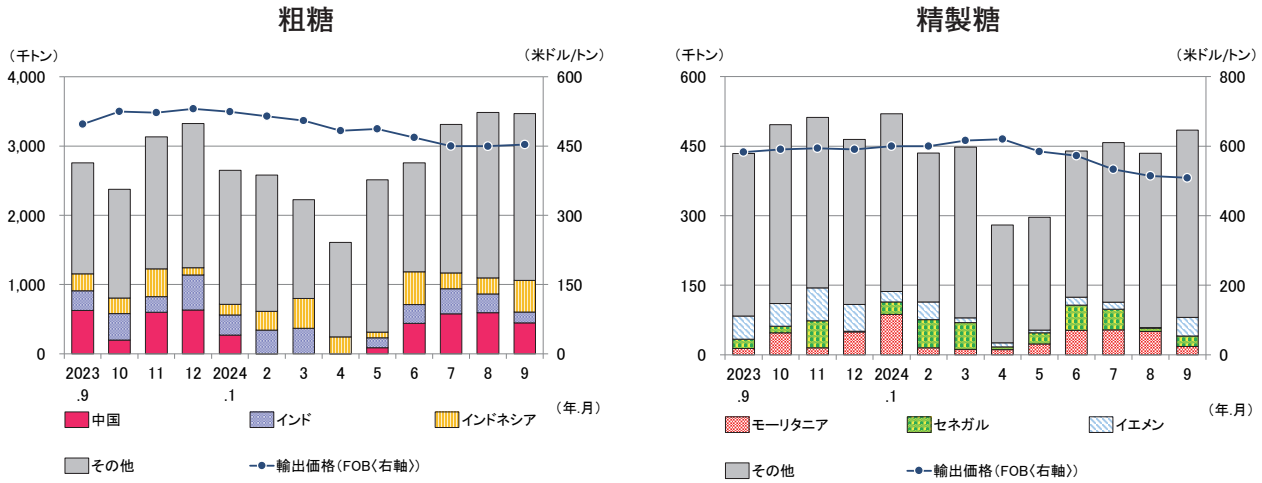
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	2024/25 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,706	8,725	3.8%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	663,108	660,002	▲ 7.5%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	46,610	▲ 7.1%
	輸入量	5	2	5	4	▲ 22.0%
	消費量	10,712	10,769	10,800	10,800	0.0%
	輸出量	27,093	28,985	37,677	36,302	▲ 5.8%
	期末在庫量	3,533	3,481	4,329	3,897	▲ 11.2%
期末在庫率	9.3	8.8	8.9	8.3	8.3	0.6ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. [Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024]

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。
 注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

インド

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：517万ha（前年度比6.8%減）
 生産量：4億2642万トン（同4.1%減）

【砂糖（甘しゃ糖）】

生産量：3132万トン（同9.7%減）
 輸出量：332万トン（同19.4%減）

2024/25年度の砂糖輸出量は輸出制限の継続により大幅に減少する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、517万ヘクタール（前年度比6.8%減）とかなりの程度減少が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、モンスーンにより雨量は十分に確保できたものの、主産地である北部で赤腐病（red rot）の拡大が懸念されていることなどから、4億2642万トン（同4.1%減）とやや減少が見込ま

ている。

砂糖生産量は、インド政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3132万トン（同9.7%減）とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、政府による輸出制限の継続やサトウキビ由来のエタノール生産解禁により、332万トン（同19.4%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

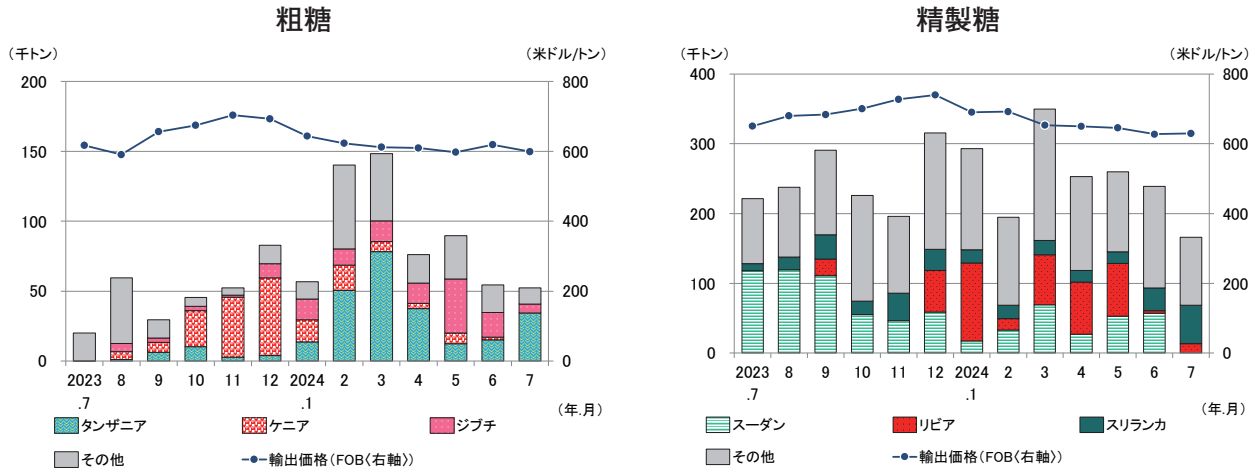
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	2024/25 (10月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	5,172	▲6.8%	
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	430,098	426,423	▲4.1%	
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	31,582	31,323	▲9.7%
	輸入量	427	1,687	3,084	2,552	2,552	▲17.3%
	消費量	29,516	30,078	31,320	31,968	31,968	2.1%
	輸出量	12,468	8,646	4,115	3,103	3,319	▲19.4%
	期末在庫量	6,472	4,824	7,150	6,324	5,738	▲19.7%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.2	18.0	16.3	3.9ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

中国

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：118万ha（前年度比7.3%増）

生産量：7418万トン（同1.5%増）

【てん菜】

収穫面積：22万ha（同29.3%増）

生産量：1137万トン（同21.3%増）

【砂糖（甘しや糖およびてん菜糖）】

生産量：1138万トン（同5.7%増）

輸入量：575万トン（同21.7%減）

2024/25年度の砂糖輸入量は大幅に減少する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビの収穫面積は、118万ヘクタール（前年度比7.3%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、9月の台風で広西チワン族自治区の一部が深刻な被害にあったものの、サトウキビの生育は例年より多い降雨量に支えられて順調であったことから、7418万トン（同1.5%増）とわずかな増加が見込まれている。

てん菜の収穫面積は、22万ヘクタール（同29.3%増）と大幅な増加が見込まれている。てん菜生産量は、収穫面積の増加と良好な生育状況により、1137

万トン（同21.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、内モンゴル自治区の8月以降のまとまった雨がてん菜の根中糖分の上昇を妨げることが懸念されるものの、原料作物の増産を背景に1138万トン（同5.7%増）とやや増加が見込まれている。砂糖輸入量は、引き続き需給ギャップ是正のために一定の輸入量が予想されているものの、政府が7月から保税倉庫に保管された輸入精製糖を液糖やプレミックス製品の生産に仕向けることを制限する新たな規制を導入したことから、575万トン（同21.7%減）と大幅な減少が見込まれている。

表 中国の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

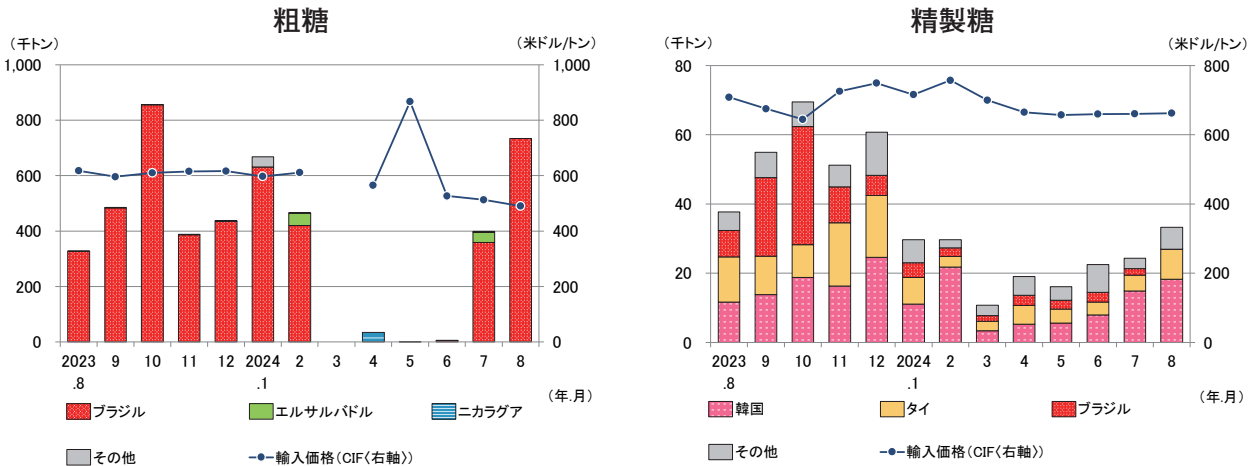
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	2024/25 (10月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,119	1,102	1,100	1,180	1,180	7.3%	
サトウキビ生産量	72,136	62,595	73,124	74,012	74,184	1.5%	
てん菜収穫面積	144	182	167	216	216	29.3%	
てん菜生産量	7,070	8,719	9,377	11,371	11,371	21.3%	
砂糖	生産量	10,334	9,698	10,769	11,362	11,384	5.7%
	輸入量	6,968	5,885	7,342	5,837	5,751	▲ 21.7%
	消費量	16,632	16,578	16,956	17,064	17,064	0.6%
	輸出量	172	201	183	204	195	6.3%
	期末在庫量	15,366	14,171	15,142	15,043	15,018	▲ 0.8%
	期末在庫率	91.4	84.5	88.3	87.1	87.0	1.3ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 中国の砂糖(粗糖・精製糖別)の輸入量および輸入価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14(粗糖)および1701.99(精製糖)の数値。

注2：輸入量は、直近13カ月(累計)の上位3カ国・地域を表示。

注3：2024年3月の粗糖輸入は、実績なし。

注4：2024年5月の粗糖輸入量は、千トン未満。

4 日本の主要輸入先の動向(2024年10月時点予測)

近年、日本の粗糖(甘しゃ糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しゃ糖・その他<同1701.14-200>の合計)の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%(前年比0.8ポイント増)、タイが8.4%(同0.9ポイント減)と、両国でほぼ全量を占めている(財務省「貿易統計」)。

豪州

2024/25年度(4月～翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha(前年度比0.2%減)

生産量：3032万トン(同1.9%増)

【砂糖(甘しゃ糖)】

生産量：410万トン(同0.8%減)

輸出量：307万トン(同8.5%減)

2024/25年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比0.2%減）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、8月の豪雨により収穫が遅れているものの、生育が順調に進んだことから、3032万トン（同1.9%増）とわずかに増加が見込まれている。

砂糖生産量は、410万トン（同0.8%減）とわず

かに減少が見込まれている。現地では豪州最大の精糖企業で発生したストライキの終結報道が出たものの、工場の閉鎖に伴いサトウキビの破碎に遅れが出ているとしている。また、同ストライキによる影響で製糖期間が長引いた場合、サトウキビの品質低下を招く恐れがあるとしている。砂糖輸出量は、アジア地域を中心に需要の伸びが引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、307万トン（同8.5%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

表 豪州の砂糖需給の推移

（単位：千ha、千トン、%）

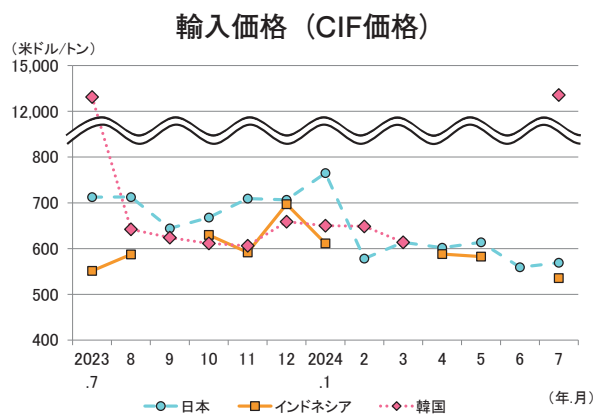
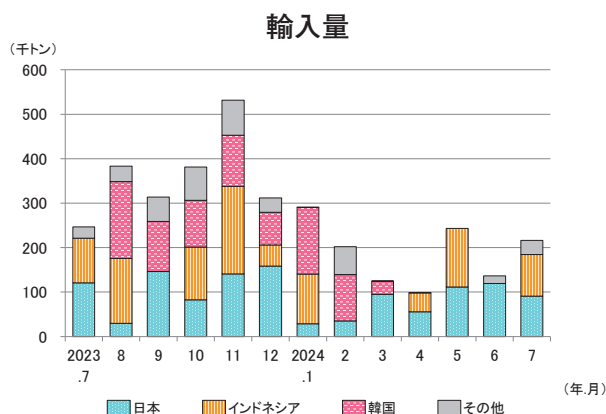
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	2024/25 (10月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	341	340	340	▲0.2%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	30,759	30,319	1.9%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,129	4,097	▲0.8%
	輸入量	9	8	10	11	11	15.1%
	消費量	1,037	1,033	1,030	1,038	1,038	0.7%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,102	3,070	▲8.5%
	期末在庫量	777	1,107	858	858	859	0.0%
	期末在庫率	17.3	27.8	19.6	20.7	20.9	1.3ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024」、輸入価格は「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。

注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。

その後は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。

ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。

注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。

注4：インドネシアの2023年9月、24年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。

注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。23年および24年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）
生産量：9800万トン（同19.3%増）

【砂糖（甘しゅ糖）】

生産量：1169万トン（同25.5%増）
輸出量：865万トン（同45.6%増）

2024/25年度の砂糖生産量はサトウキビの増産により、大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な気象条件のもと、9800万トン（同19.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビ生産量の減少とCCS^(注)

の低さにより減産した23/24年度から一転し、サトウキビの増産を背景に1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産やブラジル産の輸出量減少が見込まれる中、砂糖の増産を背景に865万トン（同45.6%増）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	2024/25 (10月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	1,670	10.0%
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	98,000	19.3%
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,316	11,691	25.5%
	輸入量	148	317	180	180	0.0%
	消費量	3,424	3,348	3,186	3,356	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	5,943	8,515	45.6%
	期末在庫量	1,951	2,599	2,967	2,507	▲0.0%
	期末在庫率	17.3	22.9	32.5	21.1	25.0

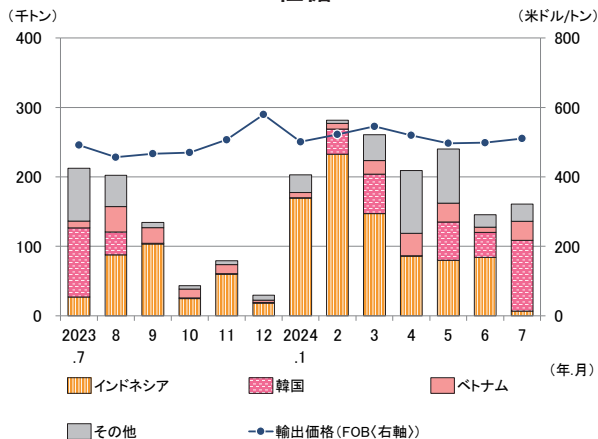
資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移

粗糖



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

精製糖

